

⑧ 精英堂印刷株式会社 〈山形県米沢市〉

設備更新を機に「エコ」路線へ 汚水の出ない水なし印刷で高品質・環境価値を提供



同社の得意とするパッケージの水なし印刷

水なしパッケージ印刷とは

山形県米沢市に本社のある精英堂印刷（株）は、水なし印刷の中でも高度な技術が要求されるパッケージ類の印刷に強みを持つ印刷メーカーである。

版式印刷方式は大きく4つに分類される。そのうち、修正・加工がし易く経済的なことから雑誌やポスター、包装紙等に使われる「オフセット印刷」は、水が油（インク）を弾く原理を応用して印刷をしている。水なし印刷は、このオフセット印刷の技術を応用して、文字通り「水」を使わない印刷の手法である。水を使わないことで、インク等が溶解した廃液の排出を抑え

る。環境に優しい印刷技術として注目されている。

水なし印刷技術は海外で開発され、社団法人日本水なし印刷協会には150社以上の企業が登録している。しかし、パッケージを対象にした水なし印刷の技術を有する企業は少ない。同社は、そうしたパッケージを対象にした水なし印刷技術はもちろん、印刷に関する技術力を磨くことにより、シール・ラベルコンテストでは3年連続経済産業大臣賞を受賞するなど各方面から高い評価を受けている。

環境に優しい印刷へ

精英堂印刷（株）は、日本酒の酒造メーカー向けパッケージ印刷で事業を進めてきたが、1999年頃から日本酒需要の下落を受け、新しい事業展開の必要性が高まっていた。

また同じ頃、環境に対する社会的関心の高まりと共に、社内でも環境への取組みを意識する機運が高まっていたこと、社外から招いた社長の講義により今後ビジネスを展開する上で「環境」は重要なキーワードの一つであると認識したこと、印刷機の設備更新が必要となったことなどから、これまでと同じように事業を進めるのではなく、環境を意識した事業展開を進める方向に舵を切った。社内で色々と検討した結果、環境負荷の低い水なし印刷に取り組むことを決めた。

環境への取組みを進めるにあたっては、ISO14001のフレームワークを活用した。各部門に責任者や担当を決め、PDCAをまわしながら目標達成に向けて取り組む組織体制を構築したことにより、環境への取組みを社員全員で取り組む企業文化に変えたの

だ。実際に同社は、2000 年から ISO14001 の要求事項にしたがって社内体制を構築し、ほぼ独学で 2002 年には ISO14001 の認証を取得した。

高い技術を要求されるパッケージへの水なし印刷においても、このマネジメントシステムの活用が有効だった。パッケージ紙との相性や発色の具合などは全て社内研究を重ね、ノウハウの蓄積に励んだ。その成果は、前述したとおりコンテストなどで常連受賞となっている点からも明らかだろう。こうした高い印刷技術と環境配慮の高さが評価され、これまでの主要取引先であった酒造メーカーに加え、繊細で正確な品質が要求される化粧品や薬品のパッケージ印刷に対する相談が持ち込まれるなど、顧客の幅を広げている。

成功のポイントとこれから

同社の事業は、あくまで従前の印刷事業の上に、高品質かつ環境性の向上が積み上げられた環境事業である。従前の印刷事業を通じて、今後業界に求められる環境負荷の低減を真摯に受け止め、組織体制の変更と印刷技術の向上に地道な努力を積み重ねた結果と言えるだろう。

現在、同社では化学物質の取り扱いに対する規制の高まりを受け、顧客から印刷に使われている原料の要望にすぐに対応でき



綺麗なラインで印刷される水なし印刷

る体制の整備を進めている。この徹底した品質管理体制により、顧客からインキの原材料に対する確認の要望が来ても迅速に対応できるという。また、環境への取組みをさらに高めることを目的に、業界団体の協力を得ながらカーボンオフセット印刷やカーボンフットプリントなどの新しい取組みも進めている。

シール・ラベルコンテストとは
全日本シール印刷協同組合連合会がシール・ラベル印刷の技術を競う目的で 1990 年から開催しているコンテストのことである。

<環境ビジネスのすすめ ～鈴木高明代表取締役社長からの一言～>

好むと好まざるとに関らず、事業経営と環境問題は切り離せない状況になってきました。可能な限り、事業発展に資する形でこの問題への対応を進めていきたいと考えています。

<企業データ>

精英堂印刷株式会社
所在地：山形県米沢市八幡原 1-1-16
設立：1952 年、資本金：1 億円
電話番号：0238-28-2211
<http://www.seieido.co.jp>

